

## セキスイ熱膨張耐火材 ファイブロック®

区画貫通用シート

冷媒管用 パテレスキット

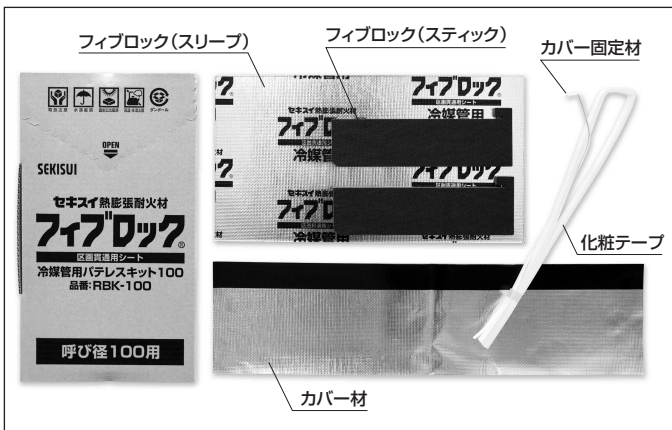
国土交通大臣認定品

取扱説明書

貫通する防火区画

コンクリート壁・床  
ALC壁・床  
中空壁・片壁

製品仕様



国土交通大臣認定シールのご案内

弊社では、防火区画貫通部の措置にファイブロック区画貫通措置部材をご使用いただいた場合、国土交通大臣認定を取得していることを示す『認定シール』をご用意しております。ご請求方法は、1現場ごとに弊社ファイブロックHPの「認定シール・評定マーク/評定一括プレート申請」よりご請求願います。申請内容を確認の上、ご請求枚数の『認定シール』を送付させていただきます。



WEB申請はこちらから  
<https://www.sekisui.co.jp/fp/>

単位:mm

品名 ファイブロック冷媒管用 パテレスキット	品番	ファイブロック (スリーブ) 幅×長さ×厚み	1枚	ファイブロック (スティック) 幅×長さ×厚み	2個	化粧テープ 幅×長さ×厚み	1本	カバー材 幅×長さ	1枚	カバー固定材 幅×長さ	1本
呼び径75用	RBK-075	267×191×2.25		42×201×4.50		10×500×5		130×400		4×700	
呼び径100用	RBK-100	347×191×2.25		55×201×4.50		10×700×5		130×500		4×700	
呼び径125用	RBK-125	425×191×2.25		67×201×4.50		10×900×5		130×600		4×700	
呼び径150用	RBK-150	513×191×2.25		81×201×4.50		10×1000×5		130×700		4×700	

適用範囲

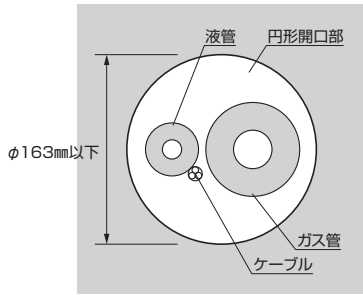
適応場所		壁・床 厚さ	貫通開口寸法:丸穴	国土交通大臣 認定番号	貫通配管種等
壁	ALC・コンクリート	80mm以上	φ163mm以下 (占積率:62.3%以下)	PS060WL-0769	被覆管: 銅管(JIS H 3300, JIS H 3320) 最大外径38.1mm以下 肉厚2.0mm以下 ・アルミ管(JIS H 4080) 最大外径40mm以下 肉厚1.65mm以下 ・被覆材:厚さ20mm以下
	中空壁※1			PS045WL-0765	
	片壁	74mm以上		PS060WL-0767-1	
床	ALC・コンクリート	100mm以上	鋼製スリーブ無し φ163mm以下 (占積率:62.3%以下) 鋼製スリーブあり※2 φ223mm以下 (占積率:62.8%以下)	PS060FL-0763	ケーブル:14mm <sup>2</sup> 以下/1本 総合計70mm <sup>2</sup> 以下 結露防止層付硬質塩化ビニル管(ACドレンパイプ) ・呼び径50以下(外径76mm以下)

※1. 中空壁:国土交通大臣が指定もしくは認定した準耐火構造(60分)及び耐火構造(60分以上)の中空壁。また、建築基準法第2条第7号の二の規定に基づく準耐火構造(45分)の壁。  
※2. 床鋼製スリーブあり: 鋼製スリーブをモルタルで埋め戻す場合、床開口部φ223mm以下まで開口可能。鋼製スリーブは厚さ0.3mm以上、外径163mm以下。

- 本製品は(一財)日本消防設備安全センターの共住、令8区画の評定は取得しておりません。
- 詳しくは、各認定書をご確認ください。

### 1. 開口部の設置

- 配管サイズに応じて適正な占積率となるよう開口部を設けます。
- 開口部が本製品の適合範囲内であることを確認します。

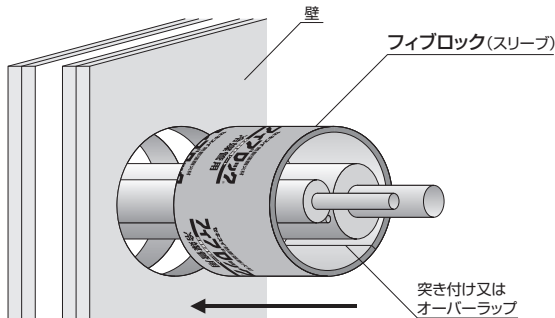


### 2. フィブロック(スリーブ)の設置

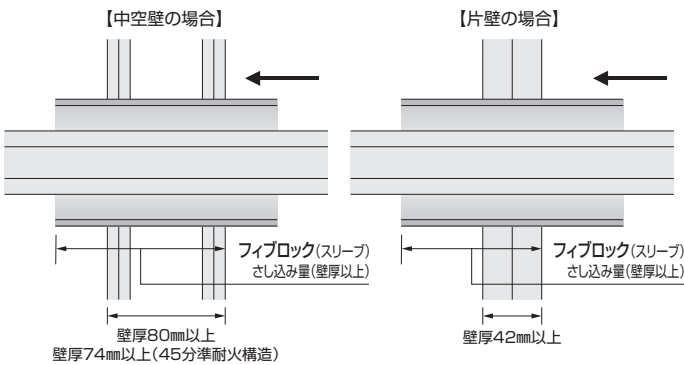
- 配管、配線した後、管等の表面の埃・汚れを除去します。
- フィブロックのロゴ面を外側にして、ロゴが壁面に対し、平行になるように配置し、開口部にフィブロック(スリーブ)を巻き入れます。
- フィブロックは突きつけ・オーバーラップのどちらでも可能です。
- フィブロック(スリーブ)が概ね壁の中央にくるように配置します。

#### ポイント

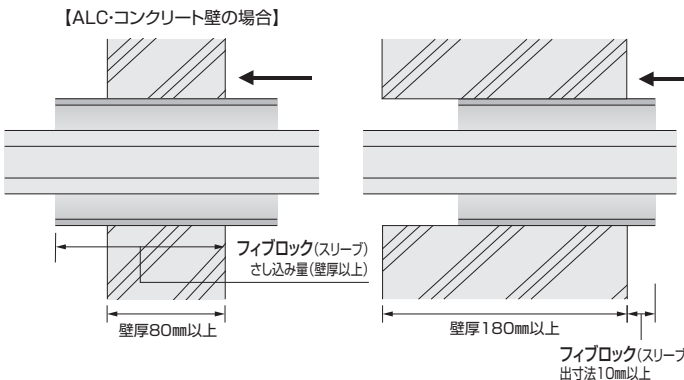
- 壁からの出寸法が左右でほぼ等しくなるように配置してください。  
※寸法の指定はありません。



#### ◎スリーブの状態



※壁厚が180mmを超える場合はご連絡ください。



#### ポイント

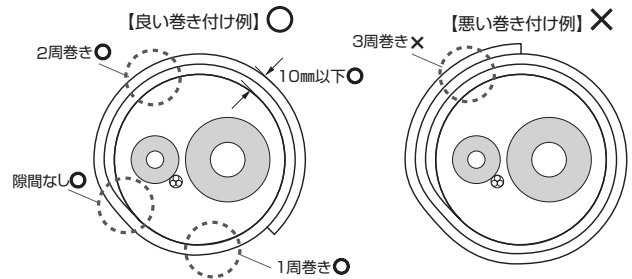
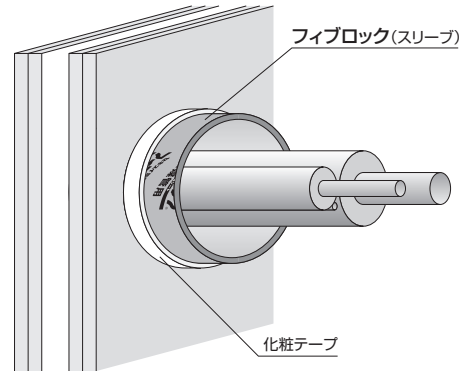
- フィブロック(スリーブ)が概ね壁の中央にくるように配置します。

### 3. 化粧テープの設置

- 化粧テープを壁面に沿ってフィブロック(スリーブ)に巻き付けます。
- 反対側が見えないように注意して、2周以下巻き付けます。

#### ポイント

- 化粧テープは必ず厚み10mm以下(2周以下)となるように巻き付け、余ったテープはカットします。

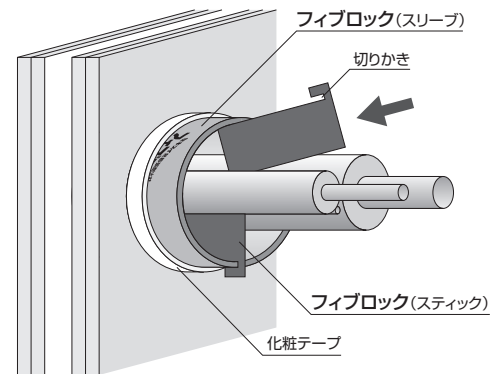


### 4. フィブロック(スティック)の設置

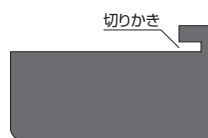
- 配管と配管の間にフィブロック(スティック)をさし込みます。
- フィブロック(スリーブ)の位置がずれないように注意しながら、フィブロック(スティック)を切りかきの奥までフィブロック(スリーブ)に入れてください。

#### ポイント

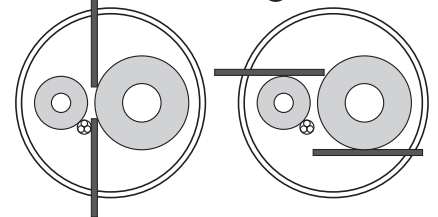
- 2個のフィブロック(スティック)が、概ね中央で向き合うようにさし込み、切りかきの奥までフィブロック(スリーブ)に入れて引っ掛けます。



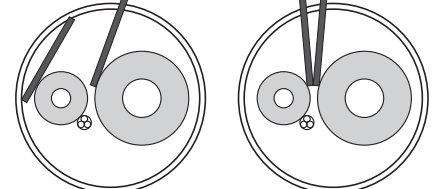
#### 【フィブロック(スティック)の形状】



#### 【良い配置例】



#### 【悪い配置例】

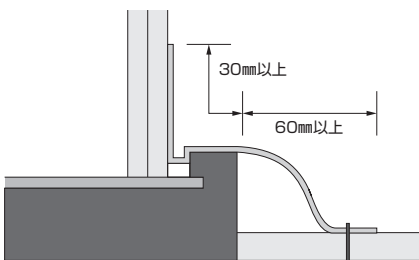
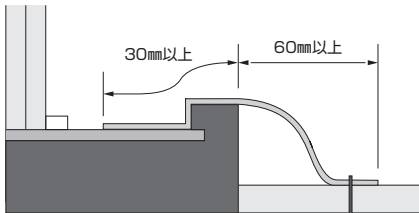
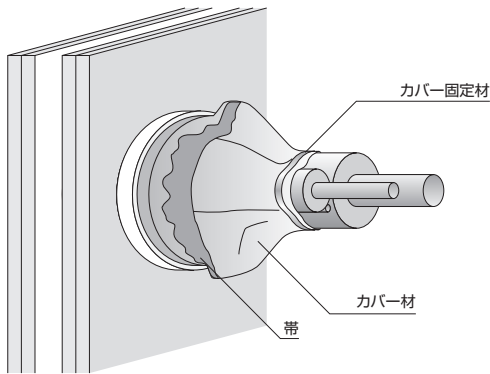
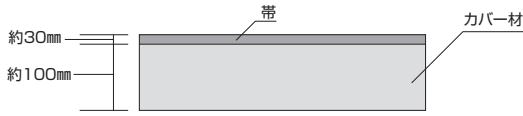


5.カバー材の設置

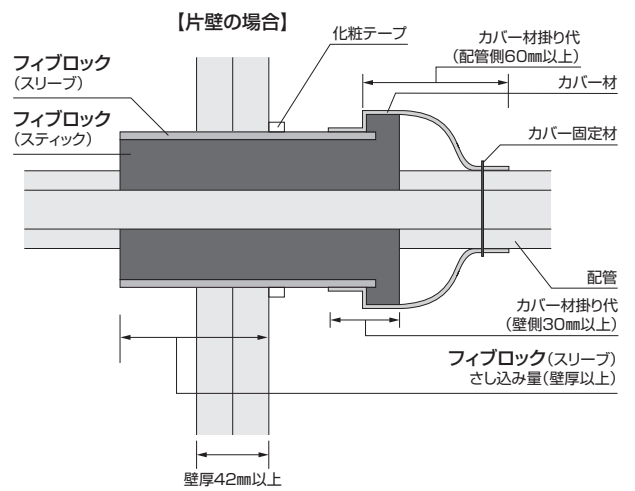
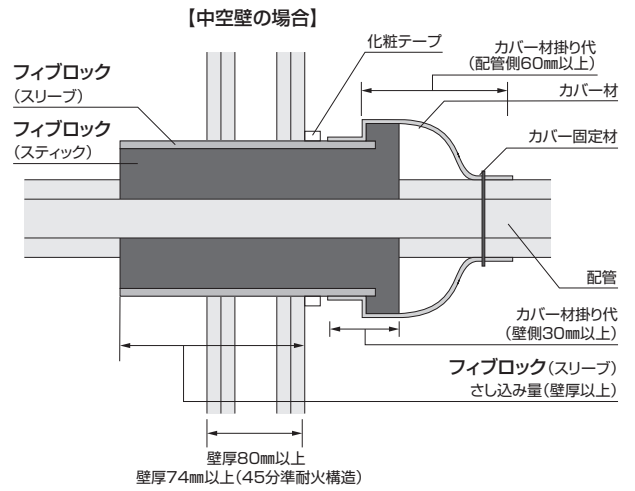
- カバー材を配管、配線に巻き付けます。
- フィブロック(スティック、スリーブ)および開口部を覆うように配管にかぶせます。この時、反対側が見えないようにします。
- カバー固定材をカバー材に巻き付け、配管部で固定してください。

ポイント

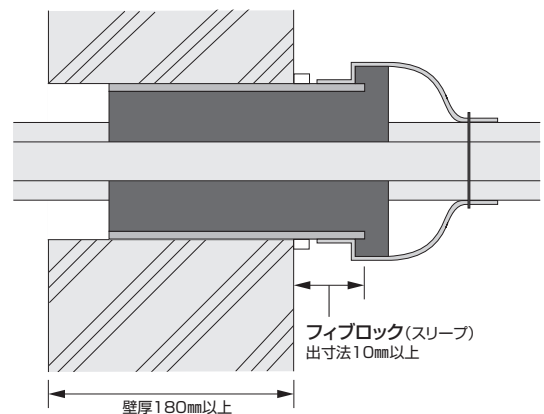
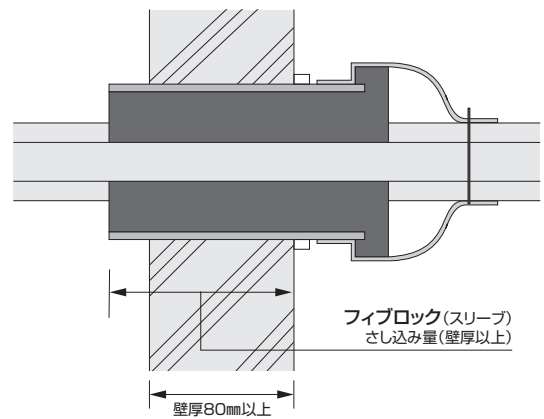
- カバー材の帯を目安にして30mm以上、壁側に設置します。
- フィブロック(スティック、スリーブ)の寸法が30mmより少ない場合は、カバー材を30mm以上使用して、壁面に掛かるように設置してください。
- 配管への掛り代が60mm以上であることを確認してください。



◎施工状態



【ALC、コンクリート壁の場合】

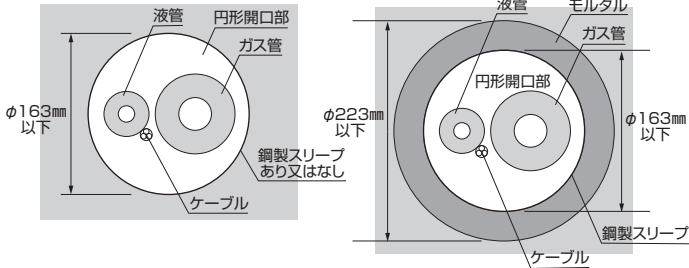


# 標準施工例 ●床の場合

## 1. 開口部の設置

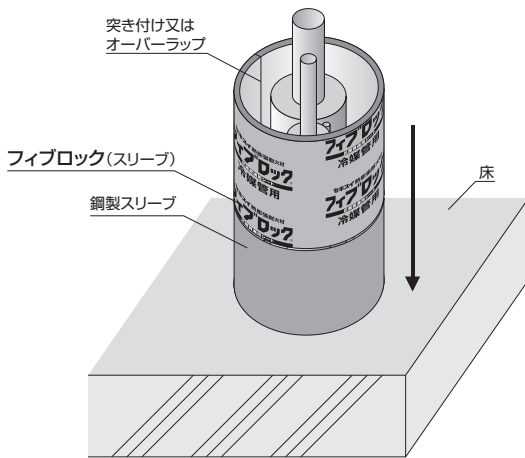
- 配管サイズに応じて適正な占積率となるよう開口部を設けます。
- 開口部が本製品の適合範囲内であることを確認します。

【鋼製スリーブあり又はなしの場合】      【鋼製スリーブありの場合(モルタル埋め戻し時)】



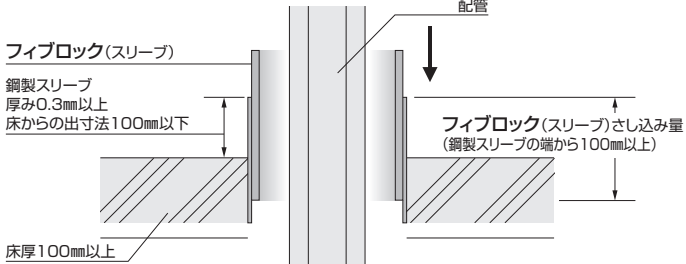
## 2. フィブロック(スリーブ)設置

- 配管、配線した後、管表面の埃・汚れを除去します。
- フィブロックのロゴ面を外側にして、ロゴが床面に対し、平行になるように配置し、開口部にフィブロック(スリーブ)を巻き入れます。
- フィブロックは突きつけ・オーバーラップのどちらでも可能です。
- フィブロック(スリーブ)が落下しないように十分注意してください。

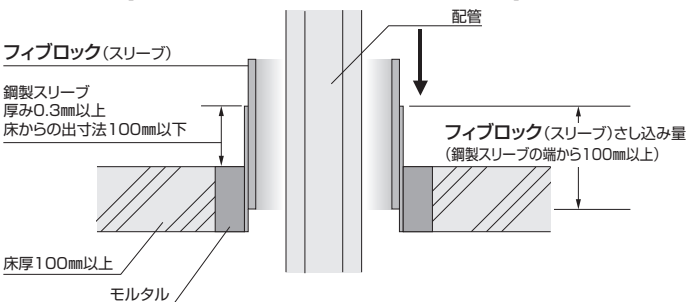


## ◎各床に対するスリーブの設置状態

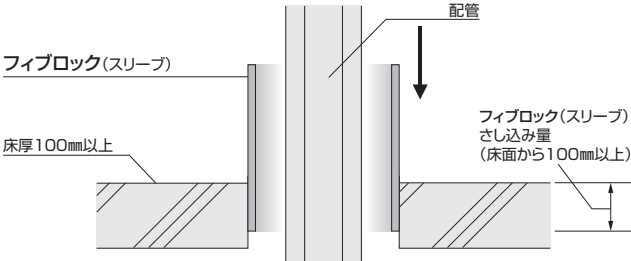
【鋼製スリーブありの場合】



【鋼製スリーブありの場合(モルタル埋め戻し時)】



【鋼製スリーブなしの場合】

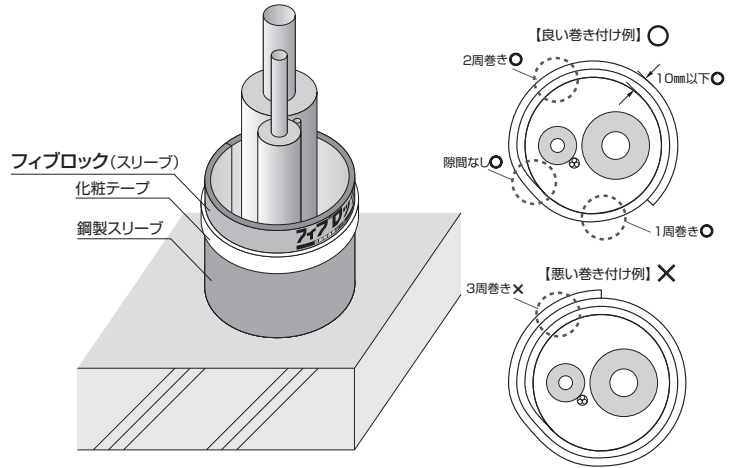


## 3. 化粧テープの設置

- 化粧テープを鋼製スリーブの端、または床面(鋼製スリーブなしの場合)に沿ってフィブロック(スリーブ)に巻き付けます。
- 反対側が見えないように注意して、2周以下巻き付けます。

### ポイント

- 化粧テープは必ず厚み10mm以下(2周以下)となるように巻き付け、余ったテープはカットします。

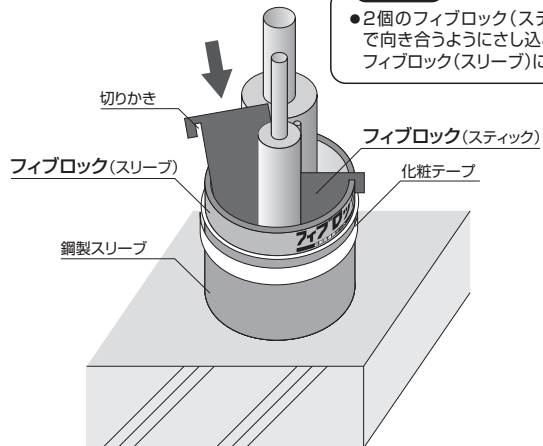


## 4. フィブロック(スティック)設置

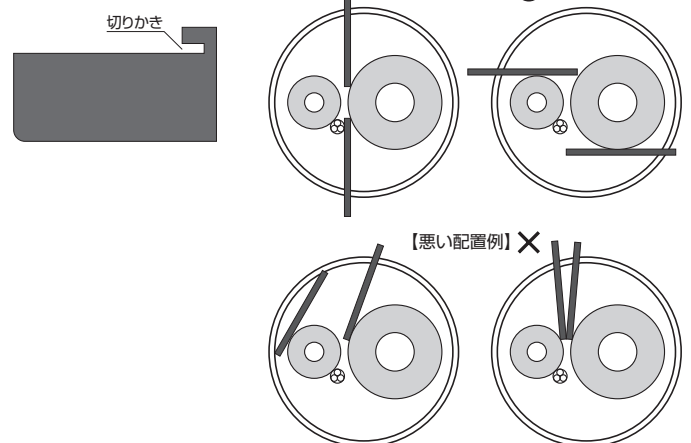
- 配管と配管の間にフィブロック(スティック)をさし込みます。
- フィブロック(スリーブ)の位置がずれないように注意しながら、フィブロック(スティック)を切りかきの奥までフィブロック(スリーブ)に入れてください。
- フィブロック(スティック)が落下しないように十分注意してください。

### ポイント

- 2個のフィブロック(スティック)が、概ね中央で向き合うようにさし込み、切りかきの奥までフィブロック(スリーブ)に入れて引っ掛けます。



【フィブロック(スティック)の形状】

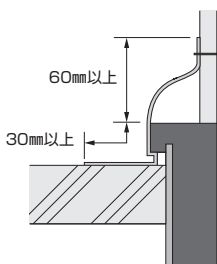
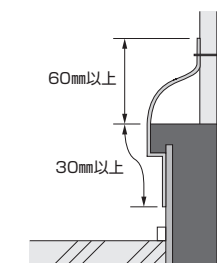
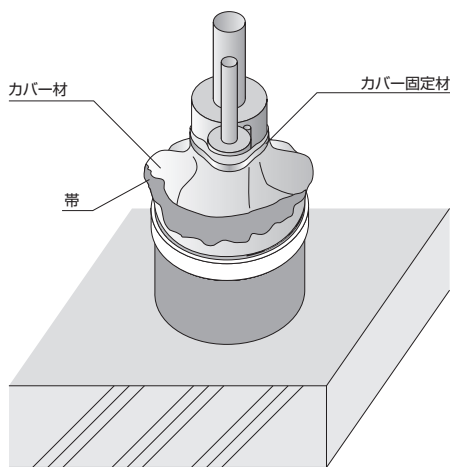
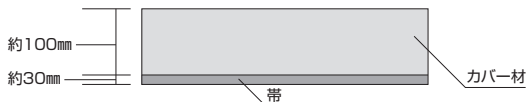


5.カバー材の設置

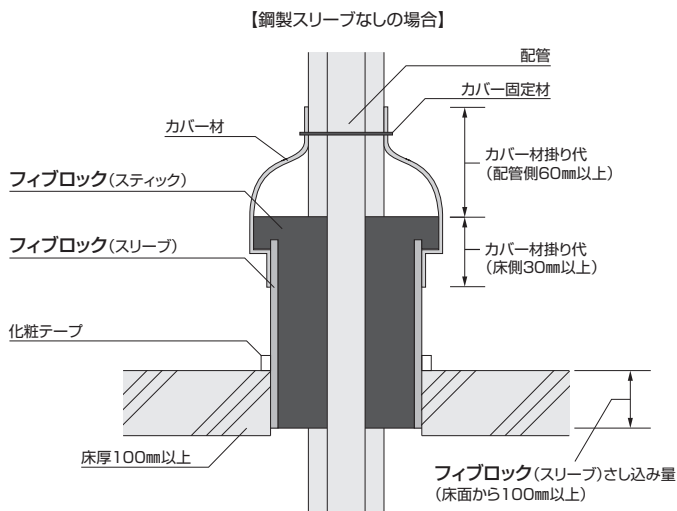
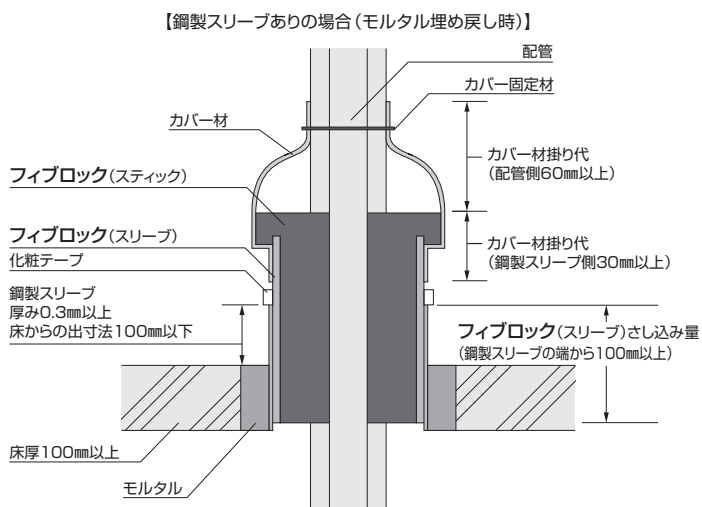
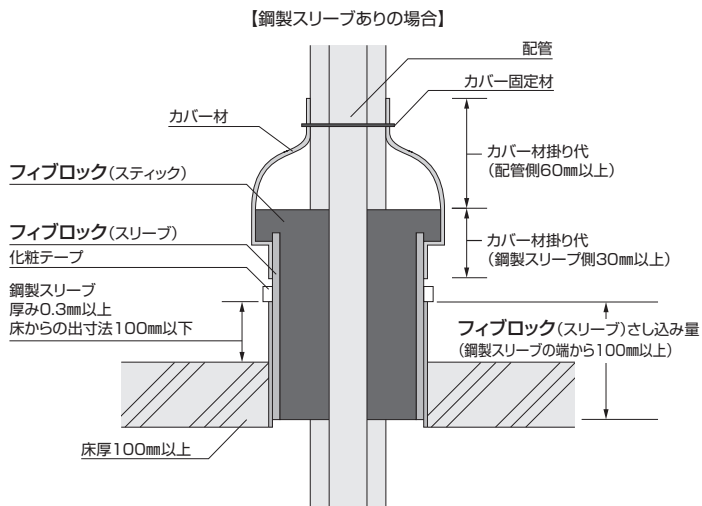
- カバー材を配管、配線に巻き付けます。
- ファイブロック(スティック、スリーブ)および開口部を覆うように配管にかぶせます。この時、反対側が見えないようにします。
- カバー固定材をカバー材に巻き付け、配管部で固定してください。

ポイント

- カバー材の帯を目安にして30mm以上、鋼製スリーブまたは床側へ設置します。
- ファイブロック(スティック、スリーブ)の寸法が30mmより少ない場合は、カバー材を30mm以上使用して、床面に掛かるように設置してください。
- 配管への掛り代が60mm以上であることを確認してください。



◎施工状態



## ⚠ 注意事項

- ファイブロックの用途、使用条件の詳細については各認定書・評定書、カタログをご確認ください。
- 本製品は(一財)日本消防設備安全センターの評定を取得しておりませんので、マンション等の共住区画の貫通部にはお使いいただけません。
- 区画貫通措置以外の目的には使用しないでください。
- ファイブロックの幅は規定の寸法となっておりますので、幅を変えて使用しないでください。
- ファイブロックの帯は壁面及び床スラブ面より規程の長さ以下出すようにしてください。
- 区画貫通部以外の配管露出部に使用しても効力を発揮しません。
- 防水機能はありません。必要な場合には別途、防水処理を行ってください。
- 必要に応じて、手袋や保護めがね等適切な保護具を使用してください。
- 水濡れや直射日光、高温下は避けて運搬・保管してください。
- 紫外線や水、薬品等のかかるところ、高温多湿の環境下、結露する場所では使用しないでください。
- 製品に局所的な荷重が加わると、潰れなどの変形や破れの恐れがあるため、保管や輸送の際はご注意ください。
- 残材や使用後の廃材の処分は、法令及び地方自治体の条例に従ってください。
- 防火区画貫通について不明な点は、所轄の行政機関へご確認ください。

製造元 **積水化学工業株式会社**

耐火材料事業部

<https://www.sekisui.co.jp/fp/>



販売元 **積水マテリアルソリューションズ株式会社**

耐火資材営業所

〒103-0023 東京都中央区日本橋本町4-3-6

TEL 03(6744)5806 FAX 03(6744)5807

●お問い合わせは上記連絡先にお問い合わせいたします。

\*本製品は改良のため予告なく仕様変更する場合があります。

ツールコード

No. 07357

(FP057T)  
2023. 11. TX